

●NPOパワーアップ補助金事業成果報告会 資料

	<table border="1"> <tr> <td>団体名</td> <td>GONET（ごみゼロネットちば21）</td> </tr> <tr> <td>代表者名</td> <td>井上 健治</td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td>千葉県香取市佐原イ2616 森方 千葉県若葉区原町232</td> </tr> <tr> <td>電話番号</td> <td>0478-54-6839</td> </tr> </table>	団体名	GONET（ごみゼロネットちば21）	代表者名	井上 健治	所在地	千葉県香取市佐原イ2616 森方 千葉県若葉区原町232	電話番号	0478-54-6839
団体名	GONET（ごみゼロネットちば21）								
代表者名	井上 健治								
所在地	千葉県香取市佐原イ2616 森方 千葉県若葉区原町232								
電話番号	0478-54-6839								
1 事業名	<p>PETボトルキャップリサイクル運動推進事業</p> <p>テーマ：地域の皆で参加しよう 集めよう！PETボトルキャップリサイクル運動</p>								
2 事業費	956,288円（このうち県の支出 478,144円）								
3 事業期間	平成19年7月6日～平成20年2月28日								
4 事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域イベントを活用し、キャップ回収をしていることをイベント参加者に広く広報する。 ・普段、何気なく捨ててしまう、ペットボトルのキャップでも分別・回収すれば立派な資源になることを広報し、できることの実践からごみ問題、環境問題への意識の改革を図る。 ・幼児から、お年寄りまで簡単にできる行為、参加できる活動を通して、身近な問題解決の意識付けをし、その後の地域での次の環境保全活動への進展を図る。 ・千葉県の「千葉県資源循環社会づくり計画」、「千葉県ごみ減量化行動計画」「環境学習基本方針」にそった事業展開です。 								
5 事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の3イベントで回収運動を実施。松ヶ丘地区 盆踊り（8月）、地区運動会（10月）西千葉地区 千葉大学学園祭（千葉大祭／11月）でPETボトルキャップ回収目標 30万個を目標にし、延べ参加人数 3000人（一人 100個）を想定する。 ・キャップ回収による環境問題への意識の変化を、地域の環境保全活動や美化運動にシフトできるよう、地域団体と協力し推し進める。また、そのような仕組みづくりなどを検討し、地域の現況に合わせて実施する。 								

<p>6 事業経過</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局のGONETが中心になり、呼びかけチラシ・ポスターを7月に企画し、8月上旬に作成する。 チラシ制作枚数：10,000枚 A4 表2色 裏1色 両面印刷 ポスター制作枚数：300枚 B3 2色 片面印刷 イベント会場に対応して使える形式で作成する。 ・回収イベントに合わせて、イベント開催の1ヶ月前に地域で広報する。開催地域団体と協力し、広報する。 8月 松ヶ丘地区盆踊り 10月 松ヶ丘地区運動会 松ヶ丘地区では、自治会・学校・PTAなどの協力を仰ぐ。 11月 西千葉地区 千葉大学学園祭（千葉大祭） 回収目標：各10万個 参加動員延べ3,000人 西千葉地区では、千葉大ISO委員会・大学・地域自治会の協力を仰ぐ。 ・イベントに合わせて、回収BOX（各3個 計9個） 回収トン袋（各1 計3袋）を支給する。 その後は、回収運動の推進に活用する。 ・回収を呼びかける標語の募集（対象：小学生・中学生・大学生） 7月 チラシを作成し、2地域を中心に広報する。 10月 募集を集計、選考し入賞作品を決定する 上位作品を表彰し、標語を今後の広報に活用する。 ・10月、12月 地域イベント終了後に内容を取りまとめ、ニューズペーパーを発行し、参加団体や関係先に広報する。また、その他の地域でも実施方策の検討など呼びかけをする。
<p>7 事業成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の意識がまだまだ未成熟で運動への取り組みも効果が上がってはいない。運動への意識改革などがなされ、今後も運動を継続されることへの目標達成の下地は出来上がった。各回収拠点の実例もあるが、徐々に運動が拡大し、突然実績が表れてくる。 ・今回実施した成果は、8月の盆踊り、45kg（18,000個）、10月の地区運動会、7kg（2,800個）、11月の千葉大祭、25kg（10,000個）で、コンサートでの5kg（2,000個）を含めても、合計 82kg（32,800個）の約1/10の回収に留まった。 ・計画したイベントでは、目標の達成は出来なかったが、PETボトルキャップリサイクル運動全体で見ると、年度末集計で、回収実施分 840kg（336,000個）になります。 さらに6月から始まった袖ヶ浦市での自治会回収分 2390kg（956,000個）、回収拠点での保管集計分 750kg（300,000個）を合わせると、5362kg（1,746,800個）の回収になり、この運動の進展の速さを感じます。 ちなみに、2006も事業は実施しており、680kg（272,000個）を回収し、合わせると6,024kg（2,018,800個）の大きな資源回収となっている。ごみとして出すのではなく、資源として有効利用する事で、燃やさない温暖化防止のCO2削減にも寄与している。

<p>8 直面した課題と今後の展開</p>	<p>■直面した課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ G O N E T が事務局的存在でサポートし、運動を展開していますが、G O N E T 自体の運営経費はすべて持ち出しとなっています。その中で、市民に行動を仕掛ける取り組みとしては一定の成果が現れています。そのため、経費の見直し、圧縮を実施し、さらにこの運動への経費面でのサポートも視野に入れた支援体制の確保も必要になります。 <p>■平成19年度以降の事業展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回、イベントに向け、広報し回収を呼びかけましたが、思ったほど住民の意識へは浸透せず、このような方法で実施する場合、企画内容など再検討の必要があります。 ・回収運動としての日々積み重ね運動での実績が示すように、日頃からの習慣性で運動の拡大を図るほうが意識改革や環境問題の動機付けには適していることがわかった。 ・回収拠点団体数は、2006年度の19箇所から34箇所に増加した。 今後更なる拡大が期待できる。 ・回収量は、2006年度の680kg 272,000個から、5362kg 1,746,800個とこの1年で約8倍の伸びとなり、この運動の進展の速さを感じます。 ・運動が話題になり、読売新聞社千葉支店、千葉県県民だよりから掲載記事申し込みがあり、1月30日読売新聞（京葉版）に掲載、県民だより3月号（3面）に活動が掲載された。その後、問い合わせが増え、更なる運動の拡大につながっている。 ・袖ヶ浦市による自治体回収に加え、香取市でも10月からモデル事業として、幼稚園・小学校・中学校での回収がなされています。（2月末で、39校が参加し 980kg 392,000個を回収） G O N E T の目標の一つでもある、自治体回収に向けての実績も順調に積み重なっています。
<p>9 補助金事業の感想等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2年連続で補助金を得て、運動を展開しましたが、家庭レベルで実施できる行動の提案がもっとも効果があると感じている。 ・運動の拡大により、支援する企業、団体などの開拓も必要である。